

パスコ



トーゴの地形測量データベースのメンバーと
(中央が中谷さん)



国際統括事業部 技術課課長

中谷 龍介さん
(40歳)
Nakatani Ryusuke

Check

空間情報による社会システム構築への貢献

政府や地方自治体、企業活動のさまざまな場面で利用されている空間情報技術で、圧倒的な強みを持つパスコ。人工衛星や航空機、車両、船舶などに搭載した最先端の機器・システムを駆使して、高精度の情報を集める技術力だけでなく、情報の分析・加工など付加価値を付けて提供するソリューション力に定評がある。

最近には特に「空間情報を使って何が出来るか」が問われている。災害時の被害状況の把握から徴税、防犯、物流、さらに農産物の収穫予測、マーケティングまで、そのニーズは大きく広がっている。パスコはベースとなる地理情報と各種統計・調査から得られたデータを組み合わせることで、より効果的な課題解決法を提供している。同社の売上全体に占める海外事業の割合は、現在12.7%に留まるが、今後は海外の比重をさらに高めていく方針だ。

パスコが求めるのは、①好奇心旺盛で、②問題の本質を突き詰めて考え、③積極的に行動に移せる実行力を備えた人材だ。「顧客のニーズがあればどこにでも出向く」という同社は、国内・海外を問わず、課題解決に取り組む意欲を持った人材に常に門戸を開いている。



company data

株式会社パスコ
PASCO CORPORATION
〒153-0043 東京都目黒区東山1-1-2 東山ビル
設立：1953年10月
資本金：87億5,848万円
連結従業員数：2,728人(2016年3月現在)
代表者：代表取締役社長 古川 順一

recruitment

新卒採用：あり
募集職種：技術職、営業職
募集人数：随時募集

TEL：03-5722-7602 FAX：03-5722-7601
E-mail：jinji@pasco.co.jp
URL：http://www.pasco.co.jp/

Career Path

Age
22

大阪市立大学文学部(地理学専攻)卒業後、パスコ入社。中部事業部を経て東日本事業部技術センターに配属

35

トーゴ国地形測量データベース設置計画に参画

36

社内公募で国際統括事業部に異動。トーゴ、フィリピン、エチオピア、ウガンダ、ブータンでODA事業に関わる

39

バングラデシュ政府発注案件で、プロジェクトマネージャーを担当する

量技術のほかに農業土木の知識を持っていないと、現場で日本人技術者同士でも話が通じません。もちろん専門性は大前提であり、海外の現場で一緒に働く方々を見て

いると、一本筋の通った技術力を持つておられることを実感します。開発協力を目指す若い皆さんには、これだけは負けないという強みを持つてほしいですね。

飛行機から撮影した写真を基に地図を作成する航空写真測量を専門として、当社に入社して14年間、ずっと国内各地で仕事をしてきました。海外案件に取り組む開発コンサルタントという存在を知ったのは、入社後10年頃です。社内に海外部門があることは認識していましたが、何をしているかは全く知らず、業務上の関係もありませんでした。たまたまタイの子会社で仕事を指導してほしいと依頼され、半月ほど出張したのに続き、翌年には国際協力機構(JICA)がトーゴで実施するトーゴ国地形測量データベース設置計画の助っ人を頼まれ、それが私にとって初の海外の政府開発援助(ODA)案件となりました。

毎日、車で走り回りました。外国人が入ったこともないような辺地の村も訪れ、全く異なる世界にカルチャーショックを受けて、面白いなと感じました。その後、海外を担当する国際統括事業部の社内公募があり、迷わず応募して、今のポジションに就きました。

プロジェクトが終わる時に現地の住民から「ありがとう」と言ってもらえるような仕事を心掛けていますが、現実はその簡単ではありません。農業かんがいプロジェクトを実施したある国では、かんがい整備に反対する人々が一部にいて、測量のために設置した基準点を壊されたり、石を投げられたりした経験もあります。結局、その地区を避ける形で事業を進めましたが、この時は少なからず衝撃を受けました。

海外で仕事をする場合、自分の専門分野以外のこともある程度知っておく必要があります。例えば農業かんがい案件であれば、測

一本筋の通った技術を持って